

第 49 回 淀川環境委員会 議事要旨

1. 日時 令和 8 年 3 月 13 日（金）9：00～12：00

2. 場所 淀川河川事務所 第 2 会議室（WEB 併用ハイブリッド会議）

3. 参加者：

委員：中川委員（会長）、*石田（惣）委員、石田（裕子）委員、入江委員、*上田委員、
上原委員、*片野委員、竹林委員、*長谷川委員、西澤委員（*WEB 参加）

事務局：淀川河川事務所 伊藤副所長、河川環境課 正木係長、外濱氏、

沿川整備課：山本課長、工務第一課：川淵課長、前中係長、管理課：曾山課長

（公財）河川財団 成宮、深澤、中西、辻尾、神崎

淀川左岸線事業者：大阪市建設局、阪神高速道路株式会社

4. 議事内容

（1）令和 7 年度 淀川環境委員会 部会・WG からの報告

1）陸域環境部会

- ・令和 7 年 6 月 26 日に現地視察を開催。
- ・近年、導水路（配水地）において下流のほうまで配水が到達しない事例がある。令和 8 年度に改善対策等を検討する。
- ・中間切下げについては、令和 7 年秋になるとオギ群落の生育範囲が拡大した。他方で、内陸側切下げ地の一部でカナムグラ-ヨシ群落の生育範囲が拡大した。これらに注視して、令和 8 年についてもモニタリングしていく。
- ・本川側切下げ地においては秋季になるとカナムグラ等のツル草でヨシが倒伏することがある。今後、これらの場所で改善の検討を実施する。

（意見・コメント）

- ・オオブタクサは、一年生草本であり、生育範囲の年変動が大きい種なので、数年とか 10 年というように長期的に傾向を追うことが重要である。
- ・オオブタクサの繁茂する場所において草刈を実施したとしても、再繁茂して花が咲いて実を付けることがある。
- ・オオブタクサの再繁茂を抑制するためには湿潤な環境にすることが重要。まずは、オオブタクサと地下水位との関係を見てみるとよい。
- ・中間切下げ地においては、オギが増えているので、引き続きモニタリング観察をしておきたい。

2）水域環境部会

- ・令和 7 年 6 月 26 日に現地視察を開催。

①鳥飼ワンドの保全・再生

- ・令和 6 年度に構造改善を行った鳥飼 1 号～3 号ワンドにおいて、ゲンゴロウブナ、カネヒラ、ハス、タモロコ、シマヒレヨビノボリ等の魚類、ミナミタガイ、ササノハガイ、イシガイ等のイシガイ類の生息環境が創出された。また、鳥飼 1 号ワンドでは、ヨシ群落、マコモ群落のそれぞれが保全されていた。また、ワンドの地形については、ワンド造成直後でもあったので、ワンド周辺の岸が降雨等で侵食されて、ワンド内に土砂が堆積した可能性がある。次年度も、ワンド内の地形の変化や生物相について注視する。

- ・令和7年度は6月12日のみの増水であった。次年度の増水時にワンド内の堆積物が本流へ流れ出ていくことを期待してモニタリングを行う。

②唐崎ワンドの保全・再生

- ・唐崎ワンドにおいては、令和7年度に3号～5号ワンドの構造改善を行った。次年度に1号、2号ワンドの構造改善の実施を予定する。

③淀川干潟の保全・再生

- ・淀川の干潟においては、次年度にモニタリングを進めていくことを予定する。

(意見・コメント)

- ・鳥飼ワンドを視察した際に非常によいワンドができているというように思っていた。鳥飼ワンドでイシガイの再生産もされているようであり、場所を創れば生物もついて来るようである。一方で、オオバナミズキンバイの問題が深刻で、河川レンジャーが駆除に勤しんでいるということで、繁殖力が旺盛な植物であることを改めて感じさせられた。
- ・オオバナミズキンバイは葉の断片から再生するので、再繁茂したり、拡散するようなことになってしまうとよくないと思うので、例えばワンドの開口部から本川のほうに葉の断片が拡散することがないようにワンドの開口部を閉じて駆除をされたりするとよいのではないか。
- ・鳥飼ワンドでイシガイやオグラヌマガイが出てきたのでワンドにポテンシャルがあることは分かった。今後、底質の経年劣化によりシルトや粘土になってくると、二枚貝の棲みにくい環境も出てくる可能性がある。したがって、底質については空間的、面的にモニタリングを行ってほしい。こういったワンドの維持には欠かせない情報だと思う。
- ・ワンドの底質に変化があれば工夫して変えろとか、そういった工夫で底質がよくなると思うので、このようなことも環境委員会で議論していただきたい。
- ・鳥飼ワンドの開口部付近で溶存酸素量が低くなっているのは注視したい。夜間に呼吸して溶存酸素量は下がるので、明け方には溶存酸素量は下がっている。
- ・ナガエツルノゲイトウが淀川の城北ワンドを覆っていたときに、その下層はほとんど酸素がないという状態であった。
- ・土砂を置いたら土砂が溜まって干潟がもっとできるような場所があるのではないかと。例えば西島の右岸側とか、もう少し河口の矢倉海岸とか、もっとポテンシャルの高いところに土砂を置いて、さらに干潟を再生させていくというようなことも検討してほしい。
- ・西島のところに土砂を置いて試験的な干潟づくりを行って、モニタリングした結果を分析した結果、どのような結論になったのか。ある程度はまとめて、そして、次に置く土砂はどういうものを、どういうところに置けば好ましい生態環境がつかれるか、あるいは干潟ができそうだというものを先行的に行って、予測のもとに行うことが大事だと思う。もう少しサイエンティフィックな知見も盛り込んで、よりよい淀川の干潟の環境をつくっていくということにチャレンジしてほしい。
- ・長く存在する干潟を創ろうと思うのであれば、土砂を大きなものにするか、常に土砂を供給する等が必要ではないか。
- ・これからは淀川ゲートウェイを使って上流からの掘削土が量的にも変わってくると思うので、そういう量的なボリュームのところも検討させていただきたい。

3) 淀川左岸線事業ワーキング・グループ

- ・淀川左岸線延伸部事業については令和 7 年 6 月 23 日、10 月 27 日に、淀川左岸線 2 期事業については令和 8 年 2 月 9 日に会議を開催。
- ・淀川左岸線延伸部事業と淀川左岸線 2 期事業等の淀川左岸線関連事業を指導・助言いただくことから、これまでの「淀川左岸線（2 期）事業ワーキング・グループ」を、2024（令和 6）年 10 月 31 日から「淀川左岸線事業ワーキング・グループ」として開催している。

①淀川左岸線延伸部事業

- ・淀川左岸線延伸部事業においては、植生（ウラギク、シオクグ、ワンドスグ、ヤガミスグ、シロネ、チガヤ）の保全対策の審議。

②淀川左岸線 2 期事業

- ・淀川左岸線 2 期事業において、ヨシの生育条件に合わせて河岸の一部を掘削（キャンセル掘削）した場所に中津ヨシ原のヨシの根系入り表土を移植した。それらの場所を 1 工区、2 工区に分けて、ヨシの生育調査を実施しており、令和 7 年度は 1 工区を対象にヨシの生育状況を調査し報告した。2 工区については令和 8 年度に改めて報告する予定である。
- ・淀川左岸線 2 期事業において、貴重植物（シオクグ、カモノハシ、ミコシガヤ、オガルカヤ）の本移植について審議。

（意見・コメント）

- ・淀川左岸線 2 期事業において、貴重植物の本移植を行った後にモニタリングを行うとのことである。次年度にはどの場所に移植するのが望ましいかを含めて議論したい。
- ・キャンセル掘削箇所において、ヨシの植生高が低くなる傾向がある。この理由としては、移植直後はヨシの根茎の生長が著しいが、その後、落ち着いてきたためであると考えられる。
- ・キャンセル掘削をしたところのヨシがうまく再生できるように、長い目で見ていただいて、異常があればまた対策していただきたい。

4）桂川河道整備事業ワーキング・グループ

- ・令和 7 年 12 月 18 日に会議を開催。
- ・令和 7 年度は、第 3 回桂川河道整備事業ワーキング・グループにおいて、河川整備計画後の生物環境の予測結果、及び予測結果に対する環境対策について検討した。
- ・桂川下流部（0.0k～1.4k）については、大規模な河道掘削によりヨドゼゼラの生息が確認されているワンド等が消失することとから、同環境のミティゲーションを行う。

（意見・コメント）

- ・数値シミュレーションには洪水時のマニングの粗度係数を使っているが、その値が少し大きめなので、平水時でシミュレーションをすると、よい精度で水位はでない。よって、ここでは二次元のモデルの水位よりも、もっと簡単に断面の形などから出していく水位のほうが合うと思う。
- ・桂川の下流のほうで以前に整備したワンドの事例がある。このワンドを参考に上流のほうに新しくワンドを創る予定である。以前に整備したワンドが機能していて、生態環境にもよい状況であることを資料に示してほしい。

（2）令和 7 年度 淀川河川事務所管内工事実施指導状況の報告

（報告事項）

- ・令和 7 年度に淀川環境委員会で扱われた案件は、21 件（AA 評価 1 件、A 評価 4 件、B 評価 16 件、C 評価 0 件、D 評価 0 件）であった。

（3）会長の退任について

- ・淀川環境委員会規約第 4 条 2 項に基づき今年度末（～令和 8 年 3 月 31 日）に、中川会長がご退任となる予定。

（4）会長の選任について

- ・淀川環境委員会規約 第 5 条第 2 号 に基づき、会長は委員の互選により選出することとなり、令和 8 年度以降の淀川環境委員会は会長に竹林委員を選出した。

以上